



(一社) 長野県保育連盟

令和元年度通常社員総会

令和元年度通常社員総会は、5月27日、長野市において開催されました。海野会長あいさつ、長野県子ども・家庭課の米久保課長様ご祝辞の後、議事に入り、議案はすべて全会一致で承認・可決されました(3〜10面参照)。

第一号議案

平成30年度事業報告について

第二号議案

平成30年度収支決算について

第三号議案

令和元年度事業計画(案)について

第四号議案

令和元年度収支予算案(案)について

第五号議案

理事の選任について

第六号議案

監事の選任について

海野会長あいさつ

本日はお忙しい中、令和元年度通常社員総会にお集まりいただきまして、誠にありがとうございます。本日、長野県子ども・家庭課の米久保課長様ご臨席のもと開催できますこ

と、改めてお礼を申しあげます。

滋賀県の事故・キッズゾーン



このたび、滋賀県で大変痛ましい事故がございました。園側には一切瑕疵がないということですが、本当に残念な事故であったと思

います。国で、緊急の会議が行われ、警察関係・国土交通省に厚生労働省、文部科学省が加わり、さらに大津市長も参加しました。その会議で、大津市長さんからキッズゾーン設定の提案がございました。スクールゾーンならぬキッズゾーンは、日常園児が散歩等で通るところを、守っていきましようという提案です。これが法案化、予算化され、県市町村が予算措置をし、県内全域は

発行所
(一社) 長野県保育連盟
長野市若里7-1-7
TEL026(228)4415
FAX026(228)9443
e-mail:kenhoren@khaki.plala.or.jp
http://horen-nagano.jp/
題字 海野会長

無理でも、園の周辺、散歩コースが確保できるかといなと思ひます。団体と県・市町村、保護者も巻き込んで運動が展開できれば、安心して保育が実施できると思ひます。この事件をきっかけに、外に出るのは危ないという議論・行動になつてしまふといけないと思ひます。保育所保育指針にも、外に出て自然と関わるこ

幼児教育・保育の無償化と少子化

待機児童が、本県でも発生し社会問題化しているところでありますが、更に10月から幼児教育・保育の無償化が行われようとしています。新たな保育需要の掘り起こしがあるのではな

いか、あるいは短時間認定の方が標準時間認定になるということが想定されます。8時間から11時間保育の利用が増え、保育の長時間化が懸念されます。我々は、どのような対応をとっていくのか。私は、保育の標準時間を8時間にしたい。いや、戻したい。ハードルは高いが、地道に活動していきたいと思ひます。

の確保のため私立園の運営について自由裁量が認められていたが、昨年あたりから絞り込みが始まり、監査も大変厳しくなつてきているようです。国、県、市町村は、少子化に向け、どのような施策を考へているのか、我々保育関係者は、目の前の課題だけでなく、この国の将来にわたる課題にいかに対応していくのか議論し実践していかなければなりません。

信州幼児教育支援センター

今年から、信州幼児教育支援センターが設立され、保育園、認定こども園、幼稚園、それに信州やまほいくの園種を超えた研修が実施されます。モデル園は、各園種から計7園が選定されました。各モデル園において、それぞれ40人が参加し、3回にわたる往還型の研修が行われます。この往還型研修というのは、研修して学んだことを園に持ち帰って実施し、それを2回目の研修で皆で話し合い、さらにもう1回研修をします。学んだことを実践できる研修を設けていこうということで、県を主体に計画されています。そこに皆様も参加いただいで、うちがモデル園になるよとなつてもらいたいと思ひます。そして、もつともつと県内の保育を高めていきたいと思つていますので、よろしく願ひいたします。

本日は、お忙しい中お集まりいただきありがとうございます。米久保課長様も、大変お忙しい中ありがとうございます。今後ともよろしく願ひいたします。

信州幼児教育支援センター運営事業について

長野県教育委員会事務局 学びの改革支援課

「子どものやりたいという力を、奪ってきたのではないだろうか」

A小学校のB先生は、C園で、自分のやりたい遊びに没頭し、試行錯誤しながら気付きを重ね、自ずと友達と協働しながら遊ぶ幼児の姿を目の当たりにし、自分の子ども観、教育観を問い直していきました。

「幼稚園教育要領」、「保育所保育指針」、「幼保連携型認定こども園・保育要領」の同時改訂（平成三十年年度施行）では、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」等が示されました。幼児期の子どもたちは、自分の力を発揮しながら遊ぶ存在であり、その姿は、私たちの願う「主体的・対話的で深い学び」そのものです。



4月1日開所式 太田光洋センター長（県立大学こども学科長）を中心に

◆保育・幼児教育にこそ

今年四月、幼児期の育ちの重要性を共有し、質の高い保育・幼児教育を実現することで、学び続ける信州人の基礎を育むため、今年四月、「信州幼児教育支援センター」が開所しました。変化の激しい予測困難な時代にあつて、幼保小中高を通じて、自ら未来を切り拓き、新たな社会を創造する力を培っていくことが重要です。「学び」を、主体的に仲間たちと共に解を導き出す「学び」に転換する必要があります。そして、保育・幼児教育における夢中になって遊ぶ子どもの姿にこそ、その主体的な姿があります。その幼児の姿をどう育むか、また、その姿をどう小学校へつなげていくか等の課題意識に立ち、保育の現場を支えるセンターとなるよう事業を進めていきます。

◆「オールながの」

本センターの特徴の一つは、大学や保育現場の知見を取り入れた運営体制にあります。センター長に、県

立こども大学こども学科長の太田光洋先生を迎え、運営方針を決定する機関には、センター長の他、県保育連盟の海野会長をはじめ、保育・幼児教育関係団体を代表する方々に務めていただきます。また、センターの具体的事業を企画・立案する機関には、専門部会として、幼児教育に携わる大学等学識経験者や保育現場の先生方に関わっていただきます。

◆今年度の主な取組

○専門部会

・保育者研修の見直し

職能別・園種別に行われている研修について、研修のあり方を検討しながら、共通して実施できる研修を整理する等、「研修体系の見直し」を検討します。

・幼保小接続カリキュラムの開発

幼児期における保育から小学校教育へ、子どもたちの健やかな育ちや学びをつなげ、深めるための「幼保小接続カリキュラム」を開発します。

○実践園を中心としたフィールド研修

① 質の高い保育・幼児教育を実践している園を実践園に選定し、実践園での保育から学び合う「フィールド研修」を実施します。

② 研修参加者が自園で実践を参考に保育を行うことで成果と課題を明らかにしつつ、保育・幼児教育の質の向上を図ります。

③ ②の取組結果を実践園にフィードバックし、より汎用的な実践事例に更新したものを全県へ提供します。

○その他

- ・アドバイザー（保育専門相談員等）による訪問支援の強化
- ・配慮の必要な子どもへの支援
- ・子育てに関する情報発信
- ・市町村・関係団体・県の連携 等

今年度の運営事業から、専門部会の企画・立案、実践園でのフィールド研修での成果と課題を受け、園種や小学校との壁を越えた質の高い保育・幼児教育の実現に向け、来年度さらに、センター運営事業の深化・拡充を図っていきます。



令和元年度（一社）長野県保育連盟 役員・代議員名簿

顧 問

| 役職名 | 氏 名 | 職名 | 施設名 |
|-----|---------|-----|-----------|
| 顧 問 | 飯 島 俊 勝 | 園 長 | 認定こども園芙蓉園 |

正 副 会 長

| 役職名 | 氏 名 | 職名 | 施設名 | 役職名 | 氏 名 | 職名 | 施設名 |
|-----|-----------|-----|-----------|-----|---------|-----|---------------|
| 会 長 | 海 野 暁 光 | 園 長 | 認定こども園深志 | 副会長 | 柳 澤 美 香 | 園 長 | 柏 原 保 育 園 |
| 副会長 | 島 崎 弘 子 | 園 長 | 青 沼 保 育 園 | 〃 | 峰 川 暁 見 | 園 長 | 芹 田 東 部 保 育 園 |
| 〃 | 小 澤 昌 代 | 園 長 | 新 町 保 育 園 | 〃 | 小 池 洋 子 | 園 長 | 八 千 穂 保 育 園 |
| 〃 | 百 瀬 富 貴 子 | 園 長 | 双 葉 保 育 園 | 〃 | 鷹 野 正 子 | 園 長 | 岸 野 保 育 園 |

理 事

| 地 区 | 氏 名 | 職名 | 施設名 | 地 区 | 氏 名 | 職名 | 施設名 |
|-----|-----------|-----|-------------|-----|-----------|---------|-------------------------|
| 東 信 | 若 林 善 信 | 園 長 | 青 木 村 保 育 園 | 中 信 | 古 本 里 美 | 園 長 | 三 岳 保 育 園 |
| 〃 | 松 井 裕 子 | 園 長 | 川 辺 保 育 園 | 〃 | 羽 山 真 由 美 | 園 長 | 寿 東 保 育 園 |
| 〃 | 保 科 美 代 子 | 園 長 | 岩 村 田 保 育 園 | 〃 | 清 水 祐 子 | 園 長 | 広 丘 西 保 育 園 |
| 南 信 | 根 木 志 保 | 園 長 | さ くら 保 育 園 | 北 信 | 矢 野 泉 | 園 長 | 南 部 保 育 園 |
| 〃 | 鈴 木 康 子 | 園 長 | 川 路 保 育 園 | 〃 | 東 理 恵 子 | 園 長 | い ず み だ い 保 育 園 |
| 〃 | 大 久 保 聰 子 | 園 長 | 伊 那 北 保 育 園 | 〃 | 和 泉 浩 美 | 課 長 補 佐 | 長 野 市 役 所 保 育 ・ 幼 稚 園 課 |
| | | | | 〃 | 花 岡 正 典 | 園 長 | 浅 川 中 央 保 育 園 |

監 事

| 地 区 | 氏 名 | 職名 | 施設名 | 地 区 | 氏 名 | 職名 | 施設名 |
|-----|---------|-----|------------|-----|---------|-----|---------------------|
| 北 信 | 萩 原 広 美 | 園 長 | さ くら 保 育 園 | 中 信 | 小 林 美 穂 | 園 長 | 三 郷 東 部 認 定 こ ど も 園 |

代 議 員

| 地 区 | 氏 名 | 職名 | 施設名 | 地 区 | 氏 名 | 職名 | 施設名 |
|---------|-----------|---------|---------------|-------|-----------|-----|---------------------|
| 南 佐 久 | 新 海 美 帆 | 主 任 | 南 牧 保 育 園 | 岡 谷 | 有 賀 美 千 代 | 園 長 | 夏 明 保 育 園 |
| 北 佐 久 | 星 野 和 子 | 園 長 | 軽 井 沢 南 保 育 園 | 飯 田 | 松 下 典 子 | 園 長 | 龍 江 保 育 園 |
| 小 県 | 山 本 あ つ 子 | 園 長 | な が と 保 育 園 | 〃 | 近 藤 政 彰 | 園 長 | さ くら 保 育 園 |
| 諏 訪 郡 | 清 水 宏 江 | 園 長 | 原 村 保 育 園 | 諏 訪 | 金 子 智 恵 子 | 園 長 | 洪 崎 保 育 園 |
| 上 伊 那 | 高 橋 留 美 | 園 長 | 南 原 保 育 園 | 須 坂 | 小 林 庸 高 | 園 長 | さ か た 山 風 の 子 保 育 園 |
| 〃 | 有 賀 美 智 代 | 園 長 | 小 野 保 育 園 | 小 諸 | 尾 台 登 貴 枝 | 園 長 | 東 保 育 園 |
| 下 伊 那 | 高 田 良 明 | 園 長 | 住 民 福 祉 課 | 伊 那 | 小 牧 德 子 | 園 長 | 高 遠 保 育 園 |
| 〃 | 北 原 理 恵 | 園 長 | 豊 丘 中 央 保 育 園 | 〃 | 向 山 瑞 穂 | 園 長 | 竜 北 保 育 園 |
| 木 曾 | 松 原 文 江 | 園 長 | 日 義 保 育 園 | 駒 ヶ 根 | 鈴 木 三 和 子 | 園 長 | 飯 坂 保 育 園 |
| 東 筑 摩 | 白 井 孝 夫 | 園 長 | 麻 績 保 育 園 | 中 野 | 小 橋 真 己 | 園 長 | 平 野 保 育 園 |
| 北 安 曇 | 松 澤 由 佳 | 園 長 | 小 谷 保 育 園 | 大 町 | 勝 野 敬 子 | 園 長 | た け の こ 保 育 園 |
| 上 高 井 | 西 澤 裕 子 | 園 長 | つ す み 保 育 園 | 飯 山 | 増 山 恵 美 子 | 園 長 | と が り 保 育 園 |
| 北 信 | 佐 藤 展 子 | 園 長 | ほ な み 保 育 園 | 茅 野 | 前 島 敦 子 | 園 長 | 湖 東 保 育 園 |
| 上 水 内 | 柳 澤 史 樹 | 園 長 | 小 川 村 保 育 園 | 塩 尻 | 古 谷 裕 理 | 園 長 | 檜 川 保 育 園 |
| 長 野 (公) | 森 田 昇 | 園 長 | 寺 尾 保 育 園 | ち く ま | 寺 澤 優 子 | 園 長 | 屋 代 保 育 園 |
| 〃 | 新 谷 貴 和 | 園 長 | 西 部 保 育 園 | 〃 | 小 林 理 恵 | 園 長 | あ か ね 保 育 園 |
| 長 野 (私) | 渡 辺 徹 | 園 長 | 古 牧 東 部 保 育 園 | 佐 久 | 井 出 裕 子 | 園 長 | ひ ま わ り 保 育 園 |
| 〃 | 三 戸 部 修 司 | 園 長 | 小 柴 見 保 育 園 | 〃 | 佐 藤 裕 子 | 園 長 | 城 山 保 育 園 |
| 松 本 | 中 野 八 千 代 | 園 長 | 梓 川 西 保 育 園 | 東 御 | 小 林 己 和 子 | 園 長 | 和 保 育 園 |
| 〃 | 斉 藤 さ ゆ り | 担 当 係 長 | 松 本 市 保 育 課 | 安 曇 野 | 田 中 智 子 | 園 長 | ア ル プ ス 認 定 こ ど も 園 |
| 上 田 | 三 澤 邦 子 | 園 長 | 東 塩 田 保 育 園 | 〃 | 島 原 律 子 | 園 長 | 上 川 手 認 定 こ ど も 園 |
| 〃 | 関 ひ ろ み | 園 長 | 神 科 第 二 保 育 園 | | | | |

(一社) 長野県保育連盟 平成30年度事業報告

1 会 議

(1) 通常社員総会

平成30年5月21日(月) (長野市 ホテル信濃路)

(2) 理事 会

ア 第1回理事会 平成30年5月21日(月) (長野市 ホテル信濃路)

イ 第2回理事会 平成31年3月7日(木) (長野市 ホテル信濃路)

(3) 監 査

平成30年4月23日(月) (長野市 長野県社会福祉総合センター)

(2)(1) 2 (4) 正副会長会議 6回開催

管理部会 5回開催

保育部会 5回開催

「保育士の資質が向上する園内研修のあり方」作成

給食委員会 6回開催

「改定保育指針と食育」手立て・課題と事例」作成

研修会等

保育所地域子育て塾

東信地区 平成30年7月7日(土) 上田市丸子セレスホール(810人参加)

演題 電子メディアにむしはまれる笑顔のない大人になれない子どもたち

講師 国立病院機構 仙台医療センター小児科

「赤ちゃんの時からはじまるゲーム・スマホ依存」

非常勤医師 田澤 雄作 先生

南信地区 平成30年7月28日(土) 岡谷市文化会館カノラホール(715人参加)

演題 子どもの好きな場所、人、こと

「遊びがつくる子どもとの関係」

講師 大阪教育大学教育学部 准教授 小崎 恭弘 先生

中信地区 平成30年7月8日(日) 豊科公民館(610人参加)

演題 乳幼児期の発達障害の理解と支援について

講師 信州大学医学部 子どものこころの発達医学教室 教授 本田 秀夫 先生

北信地区 平成30年6月9日(土) 長野市若里市民文化ホール(631人参加)

演題 ことばから心の声を聴き、繋がりあう

「今日における子どもたちの言葉の変容・その対応」

講師 ことばとこころ研究会代表 今井 和子 先生

私立保育所等理事長・所長研修会

平成30年8月28日(火) 29日(水)

(2)

行政説明 長野県子ども・家庭課 諏訪市 浜の湯(72人参加)

担当係長 宮川あゆみ 氏

主 任 高波 陽一 氏

イ 講演(第1日) 演題 施設長としての資質向上のために

講師 松本短期大学 講師 関 裕子 先生

(第2日) 演題 保育を取り巻く最近の情勢について

講師 (二社)長野県保育連盟会長 海野 暁光 氏

(3) 全国保育協議会等の研修

ア 全国保育協議会関係 教育・保育施設長専門講座 5人

イ 関東ブロック保育協議会 保育人材養成会議 1人

4 保育研究大会

第58回長野県保育研究大会(大町市) 平成30年10月13日(土) 14日(日)

参加者 第1日…分科会654人

第2日…全体会654人

分科会(大町市立仁科台中学校) 全体会(大町市文化会館)

研究発表 大町市保育園主任会 保育功労者表彰(4人)

記念講演 演題 保育所保育指針の定のポイントと今後の保育のあり方

講師 (二社) 家族・保育デザイン研究所 代表理事 汐見 稔幸 先生

第59回関東ブロック保育研究大会(千葉県千葉市) 平成30年7月30日(月) 31日(火)

(長野県関係参加者数 75人)

長野県関係分科会発表者等

議長 第1分科会 長野県保育連盟副会長(平野保育園 園長) 武田 恵美 先生

第3分科会 伊那市 手良保育園 園 長 伊藤あけみ 先生

伊那市 上の原保育園 保育士 千賀みなみ 先生

第4分科会 上田市 神川第二保育園 園 長 岩岡 園枝 先生

上田市 神川第一保育園 保育士 田玉かおり 先生

上田市 神川第二保育園 保育士

(3) 第61回関東ブロック保育研究大会(長野大会)実行委員会

(4) 全国大会

ア 第61回全国保育研究大会(神奈川県川崎市) 平成30年10月24日(水) 26日(金)

長野県関係参加者 3人

イ 第52回全国保育士会研究大会(大分県大分市) 平成30年11月7日(水) 8日(木)

長野県関係参加者 4人

長野県関係分科会発表者

第6分科会 長野市 杉の子保育園 主任保育士 東田真奈美 先生

副主任保育士 荻野 聖也 先生

(5) 全国・関東ブロック会議

全国保育協議会協議員総会

全国保育組織正副会長等会議

関東ブロック保育協議会会長会議

関東ブロック保育事業連絡協議会

機関紙「保育しなの」の発行 (広報委員会 3回開催)

第166号(平成30年6月)、第167号(平成30年12月) 長野県保育研究大会特集号、第168号(平成31年3月)発行

保護者向け情報誌「すこやか」の発行 第29号(30年5月)、第30号(30年9月)、第31号(31年1月)発行

保育施策及び予算に関する知事要望等 平成30年12月27日(木)

「保育施策と予算に関する要望書」を提出、阿部知事及び佐藤ことも・若者担当部長と懇談

保育士養成校との懇談会 管理部会と保育士養成校の懇談会 (長野市 ホテル信濃路)

平成30年8月9日(木) 保育士養成校9校(10人)、管理役員等17人参加

連盟役員と保育士養成校の懇談会 (長野市 ホテル信濃路)

平成31年3月7日(木) 保育士養成校8校(10人)、連盟役員等8人参加

保育士等キャリアアップ研修(長野県の指定を受け開催)

東信地区 169人、南信地区 146人、中信地区 76人、北信地区 246人受講

長野県保育研究大会 分科会170人、記念講演108人受講

その他 保育所児童保育要録等の様式を改訂、「保育要録等記入の手引き」を改訂、有償配布「食事に関するリーフレット」の作成、無償配布

(2) (1)11 (2) (1)10 (2) (1)9 8 7 6 (4)(3)(2)(1)5

(一社) 長野県保育連盟 平成30年度一般会計決算書

収入決算額 25,642,667円 支出決算額 23,165,855円 差引 2,476,812円 (翌年度へ繰越)

収入の部

(単位:円)

| 項 目 | 予算額(A) | 決算額(B) | 増減(B)-(A) | 説 明 |
|---------|------------|------------|-----------|--|
| 会 費 | 18,522,000 | 18,481,700 | △ 40,300 | 円 所・人 円 保育所 5,500× 556= 3,058,000 従事者 1,500× 7,118= 10,677,000 園 児 100× 47,467= 4,746,700 |
| 参 加 費 | 1,800,000 | 1,771,000 | △ 29,000 | 保育研究大会 @2,000×866人 @3,000× 13人 |
| 事業会計繰入金 | 1,300,000 | 1,300,000 | 0 | 共同印刷ほか |
| 雑 収 入 | 278,000 | 574,045 | 296,045 | 全保協等交付金・預金利子 |
| 前年度繰越金 | 3,515,000 | 3,515,922 | 922 | |
| 合 計 | 25,415,000 | 25,642,667 | 227,667 | |

支出の部

(単位:円)

| 項 目 | 予算額 | | | 決算額(B) | 差引残額 (A)-(B) | 説 明 |
|-----------------|------------|-----------|----------------|------------|-----------------|----------------------------------|
| | 当初予算額 | 流用額 | 流用後の 予算額(A) | | | |
| 事 務 費 | 8,883,000 | 0 | 8,883,000 | 8,660,623 | 222,377 | |
| 職 員 費 | 7,129,000 | | 7,129,000 | 7,094,488 | 34,512 | 職員2名分給与・手当・社保等 |
| 旅 費 | 150,000 | | 150,000 | 138,611 | 11,389 | 役職員旅費 |
| 需 用 費 | 400,000 | | 400,000 | 333,350 | 66,650 | 事務用品・光熱費・コピー代等 |
| 役 務 費 | 500,000 | | 500,000 | 408,374 | 91,626 | 電話・切手・宅配便等 |
| 委 託 料 | 619,000 | | 619,000 | 604,800 | 14,200 | 会計事務、ホームページ保守等委託料 |
| 公 課 費 | 85,000 | | 85,000 | 81,000 | 4,000 | 法人住民税、登録免許税 |
| 会 議 費 | 876,000 | 0 | 876,000 | 651,724 | 224,276 | 理事会・社員総会、正副会長会議 |
| 事 業 費 | 10,856,000 | 0 | 10,856,000 | 9,136,108 | 1,719,892 | |
| 研究大会費 | 3,360,000 | | 3,360,000 | 3,023,909 | 336,091 | 保育研究大会、(大町市) |
| 研 修 費 | 1,733,000 | △ 450,000 | 1,283,000 | 603,149 | 679,851 | 全国・関ブロ保育研究大会、教育・保育施設長専門講座等 |
| 調査研究費 | 1,939,000 | | 1,939,000 | 1,369,510 | 569,490 | 管理部会、保育部会、給食委員会 |
| リーフレット 配布事業費 | 401,000 | 300,000 | 701,000 | 693,128 | 7,872 | 食事リーフレット印刷(H30、31) 経費不足による流用増 |
| 広 報 費 | 1,604,000 | | 1,604,000 | 1,577,307 | 26,693 | 保育しなのの発行、すこやか発行、委託、広報委員会 |
| 保育所地域 子育て塾 | 1,280,000 | 150,000 | 1,430,000 | 1,420,268 | 9,732 | 保育所地域子育て塾(4会場) 経費不足による流用増 |
| 表 彰 費 | 40,000 | | 40,000 | 15,966 | 24,034 | 会長表彰 |
| 中央会議費 | 499,000 | | 499,000 | 432,871 | 66,129 | 全国保育協議会、関ブロ会長会議等 |
| 負 担 金 | 3,160,000 | 0 | 3,160,000 | 3,117,400 | 42,600 | 全国保育協議会・全国保育士会、関ブロ会長会、県社協等 |
| 抛 出 金 | 1,600,000 | 0 | 1,600,000 | 1,600,000 | 0 | 平成32年度関ブロ保育研究大会(長野大会)準備 |
| 予 備 費 | 40,000 | 0 | 40,000 | 0 | 40,000 | |
| 合 計 | 25,415,000 | 0 | 25,415,000 | 23,165,855 | 2,249,145 | |

(一社) 長野県保育連盟 平成30年度一般会計積立金決算書 (単位:円)

| 項 目 | 金 額 | 備 考 |
|---------------|-----------|-----|
| 平成29年度末積立金残額 | 6,802,045 | |
| 平成30年度 積立額 | | |
| 一般会計からの繰入 | 0 | |
| 積立金利子 | 578 | |
| 平成30年度取崩し額 | 0 | |
| 平成30年度末積立金残額 | 6,802,623 | |

(一社) 長野県保育連盟 平成30年度事業会計決算書

収入決算額 12,237,456円 支出決算額 5,387,833円 差引 6,849,623円 (翌年度へ繰越)

収入の部

(単位:円)

| 科 目 | 予算額(A) | 決算額(B) | 増 減(B)-(A) | 説 明 |
|-----------|------------|------------|------------|--|
| 共 同 印 刷 | 2,600,000 | 2,506,757 | △ 93,243 | 未収 153,410円を除く |
| 研 究 集 録 費 | 1,500,000 | 1,235,740 | △ 264,260 | 名鉄観光 1,076,000 直販分 159,740 |
| 予算対策協力金 | 1,100,000 | 973,874 | △ 126,126 | |
| 諸 収 入 | 10,000 | 469,165 | 459,165 | 図書斡旋 279,077 サンワールド 100,000 預金利子等 90,088 |
| 繰 越 金 | 7,051,000 | 7,051,920 | 920 | |
| 合 計 | 12,261,000 | 12,237,456 | △ 23,544 | |

支出の部

(単位:円)

| 科 目 | 予算額 | | | 決算額(B) | 差引残額(A)-(B) | 説 明 |
|---------|------------|-----|------------|-----------|-------------|----------------|
| | 当初予算額 | 流用額 | 流用後予算額(A) | | | |
| 共 同 印 刷 | 2,600,000 | | 2,600,000 | 2,125,272 | 474,728 | 各種帳票類印刷費 |
| 保育研究大会 | 1,500,000 | | 1,500,000 | 1,093,716 | 406,284 | 研究集録印刷費 |
| 予算対策協力金 | 550,000 | | 550,000 | 484,587 | 65,413 | 全保協 |
| 一般会計繰出金 | 1,300,000 | | 1,300,000 | 1,300,000 | 0 | |
| 諸 費 | 6,311,000 | | 6,311,000 | 384,258 | 5,926,742 | 印刷物等運送費、災害義援金他 |
| 合 計 | 12,261,000 | 0 | 12,261,000 | 5,387,833 | 6,873,167 | |

積立資産の部

(単位:円)

| 項 目 | 金 額 | 備 考 |
|---------|------------|-----|
| 定 期 預 金 | 13,500,000 | 利払式 |

(一社) 長野県保育連盟 平成30年度長野県保育災害保障共済会一般会計決算書

収入決算額 1,347,968円 支出決算額 1,804円 差引 1,346,164円 (翌年度へ繰越)

収入の部

(単位:円)

| 科 目 | 予算額 | | | 決算額(B) | 増減(B)-(A) | 説 明 |
|-------|-----------|-----|-----------|-----------|-----------|----------------------------|
| | 当初予算額 | 流用額 | 流用後予算額(A) | | | |
| 分 担 金 | 55,000 | | 55,000 | 55,000 | 0 | よこうち保育園(第4回) |
| 補 助 金 | 0 | | 0 | 0 | 0 | |
| 雑 収 入 | 2,000 | | 2,000 | 1,816 | △ 184 | 大和円定期利息 1,804 普通預金利子 12 |
| 繰 入 金 | 0 | | 0 | 0 | 0 | |
| 繰 越 金 | 1,291,000 | | 1,291,000 | 1,291,152 | 152 | 前年度繰越金 |
| 合 計 | 1,348,000 | 0 | 1,348,000 | 1,347,968 | △ 32 | |

支出の部

(単位:円)

| 科 目 | 予算額 | | | 決算額(B) | 差引残額(A)-(B) | 説 明 |
|-------|-----------|-----|-----------|--------|-------------|-----------------|
| | 当初予算額 | 流用額 | 流用後予算額(A) | | | |
| 運 営 費 | 40,000 | | 40,000 | 0 | 40,000 | |
| 会 議 費 | 35,000 | | 35,000 | 0 | 35,000 | |
| 事 務 費 | 5,000 | | 5,000 | 0 | 5,000 | |
| 事 業 費 | 1,000,000 | | 1,000,000 | 0 | 1,000,000 | |
| 給 付 金 | 1,000,000 | | 1,000,000 | 0 | 1,000,000 | |
| 積 立 金 | 2,000 | | 2,000 | 1,804 | 196 | |
| 積 立 金 | 2,000 | | 2,000 | 1,804 | 196 | 大和円定期利子積立 1,804 |
| 予 備 費 | 306,000 | | 306,000 | 0 | 306,000 | |
| 合 計 | 1,348,000 | 0 | 1,348,000 | 1,804 | 1,346,196 | |

(一社) 長野県保育連盟 平成30年度長野県保育災害保障共済会積立金決算書

(単位:円)

| 項 目 | 残高数量 | 備 考 |
|----------------|------------|---------------------------|
| 前期末現在額(前年度繰越額) | 34,181,376 | 公社債投信 6本 大和ネクスト銀行 円定期預金2本 |
| 当 期 積 立 額 | 1,804 | |
| 新規積立 | 0 | |
| 公社債投信分配金 | 0 | 平成30年度分配金の再投資 |
| 大和円定期利息 | 1,804 | 平成30年度定期利子の積立 |
| 当 期 取 り 崩 し 額 | 0 | |
| 当 期 末 現 在 額 | 34,183,180 | 公社債投信 6本 大和円定期 2本 |

(一社) 長野県保育連盟令和元年度事業計画書

新たな保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領が適用され、1年が経過しました。また、10月からは幼児教育・保育の無償化が始まり、保育ニーズの一層の増加も予想されます。長野県においては、4月に信州幼児教育支援センターがスタートし、県内すべての保育所・認定こども園・幼稚園における質の高い幼児教育の実現に果たす役割への期待が高まっています。

一般社団法人長野県保育連盟は、引き続き長野県や市町村の子育て支援対策に、積極的に支援と協力をしていきます。保育所、認定こども園が地域で担う役割、果たす使命を十分に認識して、保育の質の向上、保育士・保育教諭の資質向上を図るため、令和元年度は次の活動方針により別表の事業を実施します。

活動方針

| 項 目 | 内 容 |
|-----------------------|--|
| 1. 子どもの育ちと保護者の子育てを支える | <ul style="list-style-type: none"> ○ 質の高い保育・教育のあり方について研究し実践につなげる。 ○ 保育士、保育教諭の資質・専門性の向上を図る。 ○ 保護者向けの子育て関連情報を発信する。 |
| 2. 地域における子育て支援の拡充 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 地域子育て支援拠点としての機能の充実を図る。 ○ 地域資源（人、物、知恵、環境など）の活用と連携を図る。 |
| 3. 子どもをあらゆる災害から守る | <ul style="list-style-type: none"> ○ 施設内、施設周辺の環境を点検し、事故防止に努める。 ○ 子育て不安や児童虐待などに対する支援の充実を図る。 ○ 地域や関係機関との連携を深め、安全な保育環境を確保する。 |
| 4. 新たな事業展開への対応 | <ul style="list-style-type: none"> ○ ホームページ、機関紙を活用して情報発信を行う。 ○ 第61回関東ブロック保育研究大会の開催準備を進める。 ○ 保育士等キャリアアップ研修の開催 |

(別表) 事 業

| 事 業 名 | 内 容 |
|--------------------------|---|
| 長野県保育研究大会 | 第59回長野県保育研究大会(木島平村) 10月12日～13日 保育士等キャリアアップ研修を兼ねる。 |
| 保育所地域子育て塾 | 県下4地区(東信、南信、中信、北信)で開催 保育士等キャリアアップ研修を兼ねる。 |
| 調査及び研究 | 管理部会、保育部会、給食委員会において、新たに求められる対応・課題などについて調査・研究を進める。 |
| 食事に関するリーフレットの配布 | 子どもの食育を促進するため、保護者に対して年齢別の食事リーフレット(子どもの食事)を無償配布する。 |
| 機関紙の発行 | 機関紙「保育しなの」を発行(年3回、広報委員会担当)する。 |
| ホームページの運営・管理 | 連盟のホームページによる情報発信を行う。 |
| 保護者向け情報誌(すこやか)の発行 | 長野県民新聞社と協力して、保護者向け情報誌「すこやか」を発行し、園児の全保護者に無償配布する。(年3回) |
| 全国及び関東ブロックの大会、会議、研修会への参加 | 第60回関東ブロック保育研究大会(さいたま市) 7月 3日～ 4日 第63回全国保育研究大会(広島市) 11月13日～15日 関ブロ保育事業連絡協議会(神奈川県) 9月 5日～ 6日 関ブロ保育士の専門性を高める研修会(浜松市) 2月25日～27日 全国保育協議会の各種研修会 その他全国、関東ブロックの会議・研修会への参加 第61回関東ブロック保育研究大会(長野大会)開催準備 |
| 各種会議の開催 | 通常社員総会、理事会、正副会長会議の開催 |
| 関係団体との連携 | 長野県に「保育施策と予算に関する要望書」を提出する。 県下の保育士養成校と連盟役員の懇談会を開催する。 社会福祉関係団体等が主催する各種会議等に参加する。 関東ブロック保育協議会会長会事務局の引継ぎ。 |
| 参考図書等の斡旋 | 全国保育協議会等が斡旋する保育に関する図書などの紹介、斡旋 |
| その他 | 保育園等で使用する保育要録等の共同印刷 その他必要と認められる事業 |

(一社) 長野県保育連盟令和元年度収支予算書

(単位:千円)

| 科 目 | 予 算(A) | 前年度予算(B) | 増 減(A)-(B) | 備 考 |
|----------------------|---------|----------|------------|-----|
| I 事業活動収支の部 | | | | |
| 1 事業活動収入 | | | | |
| 会費収入 | 18,388 | 18,522 | △ 134 | |
| 正会員会費収入 | 18,388 | 18,522 | △ 134 | |
| 保育所割 | 3,058 | 3,052 | 6 | |
| 従事者割 | 10,620 | 10,650 | △ 30 | |
| 園児割 | 4,710 | 4,820 | △ 110 | |
| 事業収入 | 5,305 | 5,965 | △ 660 | |
| 共同印刷収入 | 2,500 | 2,600 | △ 100 | |
| 研究集録収入 | 1,100 | 1,500 | △ 400 | |
| 図書斡旋手数料収入 | 50 | 10 | 40 | |
| 保育研究大会参加費収入 | 1,600 | 1,800 | △ 200 | |
| 共済分担金収入 | 55 | 55 | 0 | |
| 組織強化費等収入 | 278 | 278 | 0 | |
| 全保協組織強化費収入 | 278 | 278 | 0 | |
| 雑収入 | 1,003 | 1,103 | △ 100 | |
| 受取利息収入 | 2 | 3 | △ 1 | |
| 予算対策協力金収入 | 1,000 | 1,100 | △ 100 | |
| 雑収入 | 1 | 0 | 1 | |
| 事業活動収入計 | 24,974 | 25,868 | △ 894 | |
| 2 事業活動支出 | | | | |
| 事業費支出 | 25,365 | 30,935 | △ 5,570 | |
| 給料手当支出 | 4,727 | 4,721 | 6 | |
| 法定福利費支出 | 795 | 762 | 33 | |
| 会議費支出 | 525 | 413 | 112 | |
| 旅費交通費支出 | 3,604 | 4,483 | △ 879 | |
| 通信運搬費支出 | 110 | 30 | 80 | |
| 消耗品費支出 | 150 | 35 | 115 | |
| 印刷製本費支出 | 6,983 | 7,311 | △ 328 | |
| 賃借料支出 | 466 | 0 | 466 | |
| 諸謝金支出 | 1,150 | 390 | 760 | |
| 助成金支出 | 700 | 1,900 | △ 1,200 | |
| 委託費支出 | 880 | 754 | 126 | |
| 役務費支出 | 100 | 0 | 100 | |
| 租税公課支出 | 75 | 0 | 75 | |
| 負担金支出 | 4,000 | 2,150 | 1,850 | |
| 給付金支出 | 1,000 | 1,000 | 0 | |
| 雑支出 | 100 | 6,680 | △ 6,580 | |
| 予備費 | 0 | 306 | △ 306 | |
| 管理費支出 | 8,571 | 7,476 | 1,095 | |
| 給料手当支出 | 1,182 | 1,180 | 2 | |
| 退職給付支出 | 247 | 246 | 1 | |
| 法定福利費支出 | 199 | 190 | 9 | |
| 福利厚生費支出 | 30 | 30 | 0 | |
| 会議費支出 | 210 | 576 | △ 366 | |
| 旅費交通費支出 | 519 | 150 | 369 | |
| 通信運搬費支出 | 500 | 400 | 100 | |
| 消耗什器備品費支出 | 450 | 0 | 450 | |
| 消耗品費支出 | 300 | 200 | 100 | |
| 印刷製本費支出 | 100 | 0 | 100 | |
| 光熱水料費支出 | 60 | 100 | △ 40 | |
| 賃借料支出 | 210 | 400 | △ 190 | |
| 租税公課支出 | 10 | 85 | △ 75 | |
| 負担金支出 | 3,668 | 3,160 | 508 | |
| 委託費支出 | 686 | 619 | 67 | |
| 役務費支出 | 50 | 100 | △ 50 | |
| 雑支出 | 150 | 0 | 150 | |
| 予備費 | 0 | 40 | △ 40 | |
| 事業活動支出計 | 33,936 | 38,411 | △ 4,475 | |
| 事業活動収支差額 | △ 8,962 | △ 12,543 | 3,581 | |
| II 投資活動収支の部 | | | | |
| 1 投資活動収入 | | | | |
| 特定資産取崩収入 | 4,000 | 0 | 4,000 | |
| 関東ブロック保育研究大会積立資産取崩収入 | 4,000 | 0 | 4,000 | |
| 退職給付引当資産取崩収入 | 0 | 0 | 0 | |
| 投資活動収入計 | 4,000 | 0 | 4,000 | |
| 2 投資活動支出 | | | | |
| 特定資産取得支出 | 3 | 0 | 3 | |
| 関東ブロック保育研究大会積立資産取得支出 | 1 | 0 | 1 | |
| 保育共済会積立資産取得支出 | 2 | 0 | 2 | |
| 投資活動支出計 | 3 | 0 | 3 | |
| 投資活動収支差額 | 3,997 | 0 | 3,997 | |
| III 財務活動収支の部 | | | | |
| 1 財務活動収入 | | | | |
| 財務活動収入計 | 0 | 0 | 0 | |
| 2 財務活動支出 | | | | |
| 財務活動支出計 | 0 | 0 | 0 | |
| 財務活動収支差額 | 0 | 0 | 0 | |
| 予備費 | 500 | 0 | 500 | |
| 当期収支差額 | △ 5,465 | △ 12,543 | 7,078 | |
| 前期繰越収支差額 | 10,867 | 12,546 | △ 1,679 | |
| 次期繰越収支差額 | 5,402 | 3 | 5,399 | |

給与関係費除計
19,843
(事業別支出予算参照)

注) 前年度予算額は、参考数値

事業別支出予算（給与関係費を除く）

事業別支出予算

(単位：千円)

| 区 分 | 予 算 a | 前年度予算 b | 増 減 a-b | H30実績 c | 増 減 a-c | 備 考 |
|-----------|--------|---------|---------|---------|---------|----------------------------------|
| 保育研究大会 | 3,679 | 3,360 | 319 | 3,024 | 655 | |
| 関プロ保育研究大会 | 4,000 | 1,600 | 2,400 | 1,600 | 2,400 | 実行委員会負担金増 |
| 子 育 て 塾 | 1,610 | 1,280 | 330 | 1,420 | 190 | |
| 研 修 費 | 976 | 1,893 | △ 917 | 603 | 373 | 全国保育研究大会 △ 800 全国保育士会大会 △ 207 |
| 調 査 研 究 | 1,687 | 2,159 | △ 472 | 1,370 | 317 | 部会等報告書 △ 600 |
| 食事リーフレット | 403 | 401 | 2 | 693 | △ 290 | |
| 表 彰 | 40 | 40 | 0 | 16 | 24 | |
| 中 央 会 議 | 499 | 499 | 0 | 433 | 66 | |
| 広 報 | 1,804 | 1,744 | 60 | 1,577 | 227 | |
| 共 同 印 刷 | 4,100 | 11,130 | △ 7,030 | 4,076 | 24 | 諸費 △ 6,480 予算対策協力金 △ 550 |
| 災害保障共済 | 1,045 | 1,346 | △ 301 | 2 | 1,043 | 予備費 △ 306 |
| 合 計 | 19,843 | 25,452 | △ 5,609 | 14,814 | 5,029 | |

注1 前年度予算は、参考数値

注2 予算対策協力金は、管理費に計上

令和2年度関東ブロック保育研究大会 長野大会

令和2年6月25～26日、ホクト文化ホール他の会場において、第61回

関東ブロック保育研究大会が、関東ブロック保育協議会、当連盟ほかの主催により開催されます。

実行委員会により準備が進められています。基調講演の講師及び分科会助言者が決定しました。

基調講演

A I v s . 教科書が読めない

子どもたち(仮)

新井紀子教授(国立情報学研究所) 分科会 テーマ・助言者

第1分科会

新たな時代の保育実践

井桁容子(乳幼児教育実践研究家)

第2分科会

配慮を必要とする子どもや

家庭への支援にむけて

下山真衣助教(信州大学)

第3分科会

保育者の資質向上を図る

大豆生田啓友教授(玉川大学)

第4分科会

地域の子育て家庭への

支援の充実にむけて

太田光洋学科長(長野県立大学)

第5分科会

子どものより良い育ちにむけた

関係機関とのネットワーク

伏木久始教授(信州大学)

第6分科会

「食を営む力」の基礎を培う

食育の推進

新海シズ教授(飯田女子短期大学)

第7分科会

保育の社会化にむけて

岡 健 教授(大妻女子大学)

第8分科会

公立保育所・公立認定こども園

等の使命と地域社会での役割

伊瀬玲奈准教授(和洋女子大学)

特別分科会

テーマ

あそんで、あそんで育つ子ども

～今の保育、それでいいの～

皐月かがやきこども園、雷鳥保育園

を視察し、碓井幸子清泉女学院

短期大学教授のコーディネートにより、

信州やまほいくの研究協議を行います。

令和元年度保育関係大会・研修会等日程表

一般社団法人 長野県保育連盟

| 行事予定・研修計画 | 開催月日 | 開催場所 |
|--|-----------------------|--------------------|
| 大会関係 | | |
| 第60回 関東ブロック保育研究大会 | 7月 3日(水)～ 4日(木) | 埼玉県さいたま市ソニックシティ |
| 第63回 全国保育研究大会 | 11月13日(水)～15日(金) | 広島県広島市 広島市文化交流館他 |
| 全国保育協議会関係 | | |
| 教育・保育施設長専門講座 プログラム(1) | 2020年 1月24日(金)～25日(土) | 東京都内または近郊 |
| 教育・保育施設長専門講座 プログラム(2) | 7月予定 | 東京都内または近郊 |
| 教育・保育施設長専門講座 プログラム(3) | 9月予定 | 東京都内または近郊 |
| 公立保育所等トップセミナー | 8月23日(金)～24日(土) | 東京ベイ幕張ホール (千葉県千葉市) |
| 保育所・認定こども園 保健・衛生専門研修会 | 6月20日(木)～21日(金) | 東京都内または近郊 |
| 認定こども園研修会 | 12月【予定】 | 東京都内または近郊 |
| 保育所・認定こども園リーダーシップセミナー | 2020年 2月【予定】 | 東京都内または近郊 |
| 県保連関係 | | |
| 第59回 長野県保育研究大会 | 10月12日(土)～13日(日) | 木島平村 木島平村小学校他 |
| 保育所地域子育て塾 (東 信) | 6月22日(土) | 佐久市コスモホール |
| 〃 (南 信) | 7月 6日(土) | 茅野市民館大ホール |
| 〃 (中 信) | 6月29日(土) | 安曇野市豊科公民館ホール |
| 〃 (北 信) | 7月13日(土) | 須坂市文化会館メセナホール |
| 私立保育所等理事長・所長研修会 | 8月29日(木)～30日(金) | 諏訪市 浜の湯 |
| 長野県社会福祉協議会実施研修 | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ▶ 福祉職員生涯研修【リーダー課程(保育所等)】 ▶ 福祉職員生涯研修【新任職員課程(保育所等)】 ▶ 子育て支援機関三歳未満児担当保育士研修 ▶ 子育て支援機関障がい児担当保育士研修 ▶ 保護者支援・子育て支援研修 | | |
| 長野県社協の研修の詳しい開催日程、会場等は | | |
| 長野県福祉研修実施団体共同サイト【きやりあねっと】 http://www.career-net.jp/ をご参照ください。 | | |
| ※冊子【きやりあねっと福祉研修ガイド2019】が県社協より、公立は各市町村へ、私立は各施設へ4月送付されております。 | | |
| ★お問い合わせ 県社協 福祉人材研修センター 研修担当 ☎026-227-5208 | | |

◎ 研修の日程や会場が変更になることもあります。

第五十九回長野県保育研究大会

「すべての人が子どもと子育てに

関わりを持つ社会をめざして」

北信保育連盟実行委員長 湯本悦子

第五十九回長野県保育研究大会

が、十月十二日(土) 十三日(日)の二日間にわたり木島平村を会場に開催されます。

木島平村は、長野県の北に位置し、東には、年に二回だけ姿を現す幻の滝「樽滝」や、樹齢三百年を超えるブナの原生林が広がるカキノ平原高原があります。西には、県境に向かう千曲川が悠々と流れ、川の兩岸には柳の緑の葉が風に揺れるさわやかな風景です。南には、パラグライダー発祥の地であり、スキー客で賑わう高社山がどっしりとかまえて、北には、「平成の名水百選」に選定された龍興寺清水や稲泉寺の大賀ハスがあり、各地から大勢の方がお見えになります。

そして、この地域は、日中の寒暖差と山からの冷たい湧水で育てられるおいしいお米の産地です。何年か前には、新潟県の佐渡からトキが飛来し、ドジョウをついばむ姿を一目見ようと、農道に車の列ができました。

た。

このように四季折々の美しい自然豊かな木島平村は、三園ありました保育園を一園に統合し「おひさま保育園」となり、園舎向かいには「木島平小学校」、役場近くには「木島平中学校」があります。それぞれが理解・連携・協力し心身共に健やかな、地域を愛する子ども達の育成をめざしています。

「おひさま保育園」では、自然環境を生かし、子ども達の自然に対する愛着の中で、柔軟な発想からの展開を見守り、自ら考え意欲的に取り組む、充実感・達成感が味わえるような活動を子ども達と作り上げていきます。様々なことに興味を持ち、友達と探求していく子ども達の育ちをめざし、友達の中で自分の意見を自信を持って言い、行動につなげることを大切さをまとめた研究発表をさせていただきます。

「改定保育所保育指針」や「改訂幼保連携型認定こども園教育・保育

要領」が施行されて二年目。そして、今年の十月から予定されている、三歳児からの保育の無償化については、税金が投入されることで国民の関心が高まっています。国民の関心にこたえるためにも「保育の専門性」を示して、社会的責任の重さを私達保育関係者が自覚し、「保育の質」について探究していかなければなりません。「保育の質」を高めるには、保育のプロセス・保育の条件や環境整備・保育者自身の技術向上があげられます。保育の目標に向かって、丁寧を実現していくためには保育者同士お互いに高め合う研究の場は重要です。

本研究大会の開催にあたり、長野県保育連盟の皆様のお力添えを頂き、参加されるすべての皆様が、議論を深め、共に学び合い、実り多い充実した大会になることを願っております。

北信保育連盟は、栄村・野沢温泉村・木島平村・山ノ内町で構成され、実行委員となっております。県下各地よりお見えになる皆様方を気持ちよくお迎えできるよう、鋭意準備を進めています。当日は、大勢の皆様にお会いできますことを楽しみに、心よりお待ちしております。



分科会会場 木島平村小学校



全体会会場 木島平村体育館

二〇一八年度教育保育施設長専門講座を受講して

長野市若葉保育園園長 宮本祐子

キャリアパスを見据えた体系的な研修機会の充実を図る中で、職員に保育園全体の質を向上するために自らの職位や職務にあつた努力を身に付けるための研修をしていこうと伝えるも、私自身園長として何かやらなければ、と思い今回の施設長専門講座に参加させていただきました。

一年間で三つのプログラムがあり、二七の講座を受講し二つのレポートを提出するというものでした。

保育界では第一線で活躍されている講師の方々による講義と参加型の演習内容は、私にとつて目からうろこの部分が沢山ありました。その様々な講義の中からひとつ学んだことを報告させていただきます。

施設長としての実践への関わり（保護者（家庭）支援の理解）倉石哲也氏の講義は、保護者支援の意義について理解した上で保護者とのパートナーシップによる保育の方法や様々なニーズを持つ保護者への支援さらには課題を抱えた保護者への対応について専門性を高めるとい

ものでした。

私の園は長野市私立保育協会が運営する長野で唯一の認可夜間保育園で開園時間は朝七時三〇分から夜〇時三〇分まで、さまざまな就業形態の家庭環境に対応できるように夜間までの保育をしています。そんな中で特別な配慮を必要とする家庭も多く、状況に応じて個別の支援を行うことがあります。保護者を追い詰めてしまうことがないように、私たちができる範囲で支えていくのですが、やり過ぎてしまつて親の役割を全く果たせない状態になったり、園でやってもらいたい要求がどんどん増えたりやつてもらえないとわかると、クレームに繋がったりとケースバイケースの対応が難しいことがあります。講義の冒頭、新制度の中で保育所・保育者の専門性はどうかあるべきかのところで、親の発達に合わせた支援が大事になってくる。保育者は子供の「愛着対象」となること、親に対して「愛着対象」でなくてはいけないという話がありました。園で丁寧にして

いるのに親は何で…と思つてはいけません。親の愛着スタイルを理解することがたいせつなこと。



不安定な親には、いろいろな先生が声をかけることが大切で、チームワークを持つて保護者支援に取り組むことが大切。職員それぞれの長所を活かす役割を認識、個人の力を発揮し、できないところをカバーし合う。このところが自園の保護者支援で大切にしたいところだと思ひました。

私も職員に、問題をひとりですべて背負わないことを常に伝えていきます。個人の責任にして終わらせられないように、特に夜間保育園なので一日の中で、担任が何人も入れ替わる、一人

の園児でも全員が担任であるという意識を持つて臨むように。

長時間にわたる保育の中で、「この先生は良いと言つたのにこの先生は駄目」といったということがないよう、常に職員間の連絡連携を大切に考えています。

役割とチームワークで保護者を支えベテランから新任まで自分の長所を活かして仕事ができるよう、園長としてもしっかりと支えていきたいと思ひました。これこそが園長の大事な役割であるとアドバイスも頂きました。また親の「できない」をどこまで認めるかということ、親の情緒を安定させる存在になることが大切だということを学びました。

保育計画を立てるときに、保育者と保護者の信頼関係がベースに作られているのか、保育者は保護者の長所を見ようとしているか、といった視点を確認するのも大切であるということも教えて頂きました。

まだまだ園長として未熟な私ですがこれからも保護者に寄り添う保育をしながら夜間保育園に通う保護者と子供たち、そこに働く職員、また地域の皆様と共に進んでいきたいと思ひます。今回の講座での学びを活かせるよう日々学んで参ります。

保育士養成校との懇談会

「質の高い長野県保育を目指して」

現場と養成校で共に考える

県内7校の保育士養成校と当連盟

長野県短期大学 荒井聡史教授

役員との懇談会を、3月7日長野市

で開催しました。

海野暁光会長あいさつ

皆様方、お忙しい中ようこそお越

しいいただきました。

これほど幼児教育・保育が世の中を賑やかしていることはないのではないのでしょうか。無償化という国費が投入されることで、国が幼児教育・保育に力を入れ始めているということを実感しているところです。長野県の保育の質を、いかに高めて行くかということが重要になっていくと思います。

質の高い保育がなされている所に人が集まり、地域が発展していくと思っております。長野県がその流れに乗り遅れないように、養成校と現場が垣根を取り払い、共に協議が出来ればと思います。懇談会を設けました。養成校の先生方から忌憚のないご意見をいただき、長野県の保育の質を高めていきたいと思っております。

【養成校】

講演会等で、現場の先生から園内研修実施の難しさの声が聞かれますが、先生方は園内研修に対して、非常に前向きで積極的に取り組んでいらっしゃる姿が印象的でした。

ご提案させていただきたいのは、園内で風通しを良くするためコミュニケーションをとる事です。多くの園でも活用していると思いますが、KJ法を使うのも有効かと思いますが、保育をしながら、自分の保育を見つめる力を保育士さんに持っていただけならと思います。

【保育連盟】

保育現場も、十数年前から雇用形態が多様な形になりました。働き方や給与の違いなどで、人間関係を保つのが非常に難しくなってきました。

しかし、保育だけは質を落としたいと考え色々な研修を受けるようにしました。中でも園内研修を大切にしています。

後半は、小グループに分かれ討議しました。討議された内容の一部を掲載します。

○共同研究の提案

【養成校】

保育の質の向上に向けた研究が一

緒に出来ないでしょうか。養成校は保育現場の現状と課題を知り、現場は課題に対して、学生と同じ指導や保育士が苦手な分野としている理論を学びながら、課題解決につなげられるのではないかと思います。



○学生が、保育実習後保育士になることへの不安が大きくなったり、諦めることについて

【保育連盟】

個々に違うタイプの学生を受け入れるので、現場の対応の配慮が必要であるが、実習ノート（記録）の負担が大きいのではないのでしょうか。ポイントを絞った記録でも良いのではないのでしょうか。

【養成校】

学校で用意した実習ノートに縛られなくても良いが、急な変更に対応出来ない学生もいるので事前に準備が必要です。



子どもの育ちへの喜びとやりがいを支えらわて

佐久保健福祉事務所 保育専門相談員 小林昭寛

佐久管内五一保育園を訪問させていただいて2年目になります。子どもたちと先生が生み出す様々な活動に新鮮な驚きと発見、感動があり、「おもしろがって見ていただけることがうれしいです」と園長先生に言われながら、訪問を楽しみにでかける日々です。

朝早くから夕方遅くまで、家庭で過ごすよりも長く、保育園で生活する子どもたちがたくさんいます。保育園へ通う子どもたちにとって、保育園は大切なお家です。そのような子どもたちを温かく迎え、一緒に遊び、食事をして過ごす、いわばお母さんお父さんのような存在が保育士です。笑顔の素敵な先生方に心が温まります。先生方は、子どもの目線で対話しています。乳児に目線で話すのは簡単なことではありません。そして、言葉で表現できない子どもたちの表情や仕草で読み取って応答します。これぞプロの仕事です。

保育園には小中学校のように特別支援学級がありません。全ての子どもたちが共に生活するインクルーシブ保育です。さまざまな個性を持つ子どもたちが一緒に生活する中では、気持ちがあぶつかることも当然あります。ですが、人との関わりは人との中でこそ身につくものです。大人との一対一の生活中心では、得られない育ちがあると保育の様々な活動から改めて感じました。

A 保育園4歳児クラスでは、みんなでジャングルへ冒険の旅に出るという活動をしていました。Aさんは、跳び箱の順番を破って先にやろうとしました。先生は、「お友達に聞いてごらん」といいました。「先にやってもいい」とBさんが聞きます。友達は「いいよ」と応えます。先に行つたAさんは、宝物を探し独り占めしました。一つもとれなかった友達を見て、今度は「あげる」と言つて渡しました。Bさんが起こす出来事が、Bさんだけでなく、クラスみんなの学びにつながっていました。そこに、共に過ごすことの大切な意味があると思えました。

また、C 保育園の年長クラスでタイヤとびをしていました。タイヤとびの苦手なDさんはみんなについていけず遅くなつてはいるけど一生懸命跳んでいました。するとクラスの子どもたちの応援が一つになり「頑張れ、頑張れ」の応援がおこりました。友達とのかかわりが少なく単独行動の多いEさん。外での自由遊びになると、気の合うFさんの後をついて、砂場で遊び始めました。安心できる友達と自分なりのアプローチで関わろうとしていました。自ら動き出すまでじっくり待てる保育園の環境が、その子が自分の力で歩み出せるように後押ししています。



砂場は遊びの宝庫
(楽しく創造力、思考力、共同性が育つ)

Eさんが給食のエプロンをうまく着れないでいることに気付いて手伝っているGさんがいました。ごく自然に友達の気持ちに気付き寄り添い助け合つて生活しています。このようなことが日常的にみられるのが保育園です。

Hさんは朝の全体の運動に加わる気持ちになれません。その後のクラス活動では、大きなビニールに装飾する活動をグループで夢中になって取り組み、自分のアイデアを生かして作りました。できた遊具で遊ぶ活動では自分を主張しすぎたり、逆に友達の思いを汲み取りながら遊びました。

子ども主体の保育という言葉をよく耳にします。子どもたちが自ら「やってみたい」と思い、夢中になつて遊び込む中でこそ願う資質能力が育つと考えて取り組んでいます。

地球的規模での共存・幸福を目指す人を育てるには、豊かな自己実現と他者理解の両輪の力が必要です。わたしたちの多くがこれまで実際には受けてこなかった保育教育へと変えていく必要に迫られています。私の教員生活での経験と反省と保育の実際をもとにして、みなさんと考え合つていけたらと思つています。

遊びを通して育まれるもの

松本保健福祉事務所 保育専門相談員 田中 はる子

昨年度の訪問でのこと。秋晴れのさわやかな一日、山に囲まれたある保育園で公開保育が行われました。

朝、さっそく園庭に出てみると、昨日の続きか遊びが始まっています。さつまいものつるを体に巻いて歩いている男の子。紫の実がたくさんついた山ごぼうがどっさり。池のような水槽には色とりどりの花が浮かべてあり、そこに子どもがかわるがわるやってきては花にそつとふれ、水面を動かしてみたりしています。

近くにテーブル、道具類の棚に鍋、やかんにボール、お玉にスプーン、コップに飾い（ふるい）漏斗（じょうご）バケツなど使い込んだ道具が置かれています。大小のペットボトルなど空き容器もたくさんあります。滑り台の下にも道具棚とテーブルが置かれたコーナーがあります。ちょうど日陰になって遊び続けるのによさそうな場所です。そこでも2〜3人が「ご飯ごしらえ」を始めています。土山で団子作りを始める子、山ごぼうの実を絞ってジュースを作り始める子。中には遊び始めた友達のと

ころを見て歩きながら「きょうはなにをしようか」と遊びを選んでる子もいます。

まもなくそれぞれの「あそびたいこと」が見つかり、同年齢、異年齢2〜4人くらいの小さなかたまりができました。

4月から、自由に遊ぶ時間を保障しよう、遊びたいことに夢中になって遊べるようにしてみよう。したいことを飽きるまでしてみる、その中で育まれるものが多くあるだろう：友達とのやり取りが増えていつてほしい。保育士主導と言われる保育から、どのようにしたら子ども主体の保育にできるのだろうか。そのための環境構成とは。願う子ども像や遊ぶ姿を明確にしながらかわり方も悩みながら振り返りを繰り返してきたこと。

黙々と自分のやりたいことをやり続ける子どもたちに、必要なところで手を貸しながら、余計な言葉はかけず、あたたかなまなざしで見守る先生方の姿がありました。

いろいろな道具で

遊びがもっと面白くなった

大きい子の様子をじっと見ていた2歳児。漏斗を使ってジュースをペットボトルに入れる



“いいなあーぼくも”
お姉ちゃんと同じ“絵筆”で描いてみる



午後の研究会で参加者からは「山ごぼうの実をつぶしたり、もんだり、漏斗を使ってペットボトルに入れたり、工夫を重ねて夢中で遊んでいた。その中でたくさん学びがあったのではないか」「一つの素材から遊びが多方面に広がっていく様子が見られた」「遊びの流れや発展の様子を見て、子どもたち自身が環境を変化させていることがわかった」「きまりごとの多い保育や行事のための保育では得られないものが今日の保育にはたくさんあったように思う」など貴重な意見や感想が話されました。

保育所保育指針解説書総則より「保育の環境」に「保育士等は子どもが環境との相互作用を通して成長・発達していくことを理解し、豊かで応答性のある環境にすることが重要である。（中略）乳幼児の子どもの成長にふさわしい保育の環境をいかに構成していくかということは、子どもの経験の豊かさに影響を及ぼすという意味で、保育の質に深くかわるものである」とあります。

保育の質が問われている中、今年度も子ども主体の遊び中心の保育の取り組みが各地域で始められています。

異年齢の中で育ち合い

上田市依田保育園 保育主任 林

里香



依田保育園は、上田市の中央を流れる千曲川の左岸に位置し、旧依田村小学校の跡地に建てられています。近くには菅平高原や浅間山を始め、蓼科山まで見渡せる信州国際音楽村があります。大きな園庭から見える浅間山麓の四季折々の雄大な自然の素晴らしさを身近に感じながら子どもたちは、日々生活しています。

以上児クラスは、年齢ごとのクラス保育の中での経験や育ちを大切にしながらも、「異年齢の関わりの中で様々な仲間関係を経験してほしい」「異年齢活動を通して子どもたちが相互に教え合い、学び合い、共に育ち合い、その関係を小学生になってもつなげてほしい」「異年齢交流を深めていく中でたくさん先生の先生に見守られながら、子どもの居場所が広がり、認められる経験をする中で自己肯定感を持って過ごしてほしい」という思いのもと、地域を中心とした異年齢の年長児・年中児・年少児の3人ペアを中心にしたグループを作り、生活や遊びを共に経験できる機会を作っています。

日々の保育の中で、子どもたち一

人ひとりの見取りをし、育てたい力、大切にしたいこと、関わり方を保育士間で共有し、同じ気持ちで子どもに接することを大切に行っています。また、どんな活動を、どんなふうに行うか、どんな活動をしていくかは、子どもの様子に合わせて無理のないように進めています。



三歳から五歳児の異年齢でのお昼の場面では、年上の子が、汁をこぼして困っている小さい子の手を握り、雑巾を取りに行き一緒に拭いてあげたり、散歩の場面では、大きい子が歩く時の見本を見せながら歩いたり、

発育測定での着替えを手伝ってあげたりと、今まで自分がしてもらったことをしてあげる姿が見られます。クラスの中では、リーダーシップを取る子の陰に隠れていた子が、異年齢の友だちの中では、自分がしてもらった経験を生かしながら年上としてどんなことをすればいいか自分な

りにできることを考えて小さい子に関わり、同年齢の集団の中では見られない姿や力を発揮してくれる子どもが多いです。



こうして、小さい子が大きい子と過ごし、いろいろな経験をやる中で憧れの気持ちを持ちながら、やることを真似てお互いに育ち合いながら過ごす経験を積んでいます。

運動会では、自分のペアのお兄ちゃん・お姉ちゃんが本気で走る姿を大きな声で応援したり、緊張感を持ち、勇ましくリズムを踊る姿にくぎ付けになって見入ったりする姿に対し、見られていると感じる年長児もほりきる姿が見られました。

参加型保育では、日々の子どもたちの関わりの様子やそれぞれの育ちを見ていただいています。保護者からは、「異年齢の活動は、思いやりの気持ち育て、優しくされた経験が翌年につながるから大切なんだ」と思いました。「異年齢で交流することで、各自の自尊心を上手に促せていると思う。」「運動会(こっこ)では、

子どもたちのものすごい力に負けそうになりました。リレーもみんな一生懸命走り、応援し、異年齢のすばらしさに感動しました。うちは、年中ですが、年上のお姉さんたちに助けてもらい、年下の子には、手を貸している姿を見られてほっこりした気持ちになりました。」等の感想をいただきました。

子どもたち同士つながりが、親同士のつながりへと広がっていることも感じます。子どもたちにとって小学校に行っても、「僕のお兄ちゃん」「私のお姉ちゃん」と思える存在があることは、心強いと思います。

異年齢での生活や遊びを通し、いろいろな経験をjして迎えた卒園式の在園児は、ステージのひな壇に凛と姿勢を正して座る年長児の姿に對面し、敬意や憧れのまなざしを向けて式に参加する姿を見ると一年間積み上げてきたものの大きさや重みを感じ感動を覚えました。

今後も子どもを真ん中に置き、子どもに関わる保育士・保護者・大人がしっかりとつながり、学び合い、支え合い、輪と和を大切にしながら子どもたちに関わっていきたいと思います。



自然保育を目指して

中川村片桐保育園 主任保育士 那須野佐千子



中川村は、上伊那郡の最南端に位置し、山々に囲まれ村の中央には天竜川が流れる、人口四千五百人余りの小さな村です。村内には二つの保育園があり、片桐保育園は村の西側に位置し、広い園庭、周りには美しい四季を感じられる山や畑、隣には小学校があり、大変恵まれた環境の中にあります。もう一つの保育園である、みなかた保育園は三年前に「信州型自然保育」に認定され、地域の方との交流や、山遊び等の活動を保育の中に積極的に取り入れています。片桐保育園でも、自然型保育園登録を目標に、徐々に活動が始まりました。

大きな壁

自然型保育、地域の方々と共に活動する保育を行うにはどうすればいいのか：まずは、保育士の意識改革が必要でした。中川村では以前より絵画活動が盛んで、年に一回、子ども達の一年間の絵画制作の発表の場として作品展を行っています。その為、保育の中で絵画活動や制作活動

が占める割合も多くなっていました。また、行事も多く、子ども達が中川村の自然を生かした遊び、思う存分遊び込める時間を確保することができませんでした。出来なかったというより、どうすれば両立していけるかが分からなかったという方が正しいかもしれません。絵画活動が計画されていたある日、お片付けの放送がはいると、「えー、もうお片付け？つまらない」と子ども達の声…。保育士は、子ども達に色々な経験をして欲しいとの思いから、絵画活動を行っていた訳ですが、子ども達ももっと遊びたい、もっと遊び込む経験が必要だったのです。



救世主現る

そんな、「遊び込むことが大切なの

はわかっているけど…」と悶々とした日々が続く中、現れたのが今年度の保護者会長。会長は、豊かな自然を気に入って都会から移住されてきた方です。中川村は二園しかないので、職員の異動も少なく、「井の中の蛙」状態です。その為何かを変える事には消極的のように感じていました。そんな中現れたのが現保護者会長。「僕は、とがった意見を言っちゃいますよ」と穏やかな口調で言う会長。就任後まだ日は浅いのですが、今まで当たり前に行ってきたさまざまな事に対し、「それは、こうしてみたらどうでしょう」と奇抜なアイデアを提案してくださいます。そんな中「片桐保育園はこんな自然に恵まれた中にあるのだから、もっとこの自然をいかしましょうよ」と言って、保育園の西側にある山で遊べるようにと、山遊びに詳しい保護者の方、園長と一緒に村や地主の方へお願いし、いよいよ念願だった山遊びが始まったのです。

休みの度に保育園に足を運び園長と作戦会議。そして、山に入ってから草刈り、子ども達が山登りを楽しめるようにと、木にロープを付けてくれ、危険な場所やかぶれそうな木を保育士に教えてくれています。時に、

保育士の方が置いていかれそうなくらい子ども達におもいを寄せ、山遊びだけでなく、畑のお手伝いもしてくれています。一緒に畑にひまわり種をまいてくださって以来「ひまわりおじさん」と言っている子ども達の人気者です。



意識が変わってきた保育士

四月から、とことん遊び込める環境作りを目標にし、保護者会長の姿も見える中で、以前にはできなかった「遊びが盛り上がりつつあるから予定変更してこのまま遊びましょう」という遊びが中心の保育ができるようになってきました。毎日山へ行くわけではありませんが、山で遊ぶ子ども達の嬉々とした姿、充分遊び込んだ後の子ども達の満足げな表情が保育士の考え方を変えてきているように思います。今後はもっと、地域の方にも協力を求めながら、中川らしい自然保育を追求していきたいと思っています。

やまほいくが、育む豊かな感性

安曇野市 上川手認定こども園 園長 渡辺 寿美子



上川手認定こども園は、安曇野市の東、国道十九号や篠ノ井線の沿線に位置しております。園庭から続く東山は桜で有名な光城山そして長峰山まで続いています。安曇野市の中でも唯一山を抱える園として他園にはない特徴があり、山を通して子どもたちの遊びや生活が成り立っていると云っても過言ではないでしょう。春、三歳以上児の子どもたちが年齢に合った山登り「はじめの一步」があります。年長児は、東山登頂を目指します。道中、テントウムシを見つけました。「テントウムシ動かないね。」「まだ寒いから寝ているんだよ。」「冬眠しているんだ。」歩きながら、会話がはずみます。登頂すると冠雪残る北アルプスを見て「かき氷だ。」「おいしそう。」「ピカピカ光っている。」「互いに思いやイメージを伝える姿がありました。」

年中児は、山登りの約束を一つ一つ確認しながらおじいちゃん先生(保育協力員)が作ってくれた【茶屋】まで登ります。既に山登りに慣れている在園児が「木につかまって。」「ロープ持って。」「この手につかまって。」と新入園児を支えます。新入園児も真似をしながらも自分の力で到達することができました。その喜びが次への期待に繋がっている事は言うまでもありません。年少児は、参観日に親子で安心しながら山登りを楽しまます。この時、山の遊びに挑戦する我が子を見て驚かれる保護者の方も少なくありませんが、何より保護者の方々がこういった実体験を楽しんで頂く事で、山あそびへの不安が期待や安心に変わっていくように思います。



夏、東山裏の田沢神社の沢では「沢蟹捕り」も恒例です。地域の老人クラブ【万年青会】のご協力を頂きながら、交流を楽しみます。沢蟹が居そうな石をそとと退かし、見つけた時の笑顔は最高です。蟹を捕まえた手に乗せたり、歩かせてみたりといった生態を知る経験の他に、沢の水の冷たさや水の流れる音、そして地域の人々の温かさ等の学びは貴重です。

秋、山からの贈り物(自然物)で、子どもたちの遊びは更に展開していきます。特に年齢に合った見立て遊びにはそれらの物は自由にかつ豊富に使われ、子どもたちの意欲や想像、創造を掻き立てていきます。

冬、葉を落とした樹々の景色、深々と山に降る雪。静寂を感じる日もありますが、子どもたちは山で自由に遊びます。その時々々の自然の環境を感じながら、四季を通して山と関わってきたからこそ育った自分の五感や体のバランスを試すかのように楽しみます。



子どもたちは、山を通して身近な自然の変化を見て、感じ、触れ、そして当園ならではの遊びの体験は一人一人の心や体のこれからの人生の根っこになっていくことでしょう。

私たち保育士は、安全を第一に、干渉しすぎ見守りながら、子どもたちが自ら成長していく力を信じながらも、やまほいくを通して、私たちも学び続けていきたいと思っております。

「信州やまほいく」は山だけの保育？

長野市とがくし保育園 前園長 水野辰也



信州戸隠にある保育園と聞いて、みなさんが思い浮かべるのはどんなことでしょうか。「標高九一〇mに位置している、周囲を深い緑に囲まれ、地域とも緊密に関わる保育園」のよう

に言えば、なるほど…とイメージが浮かぶのではないのでしょうか。しかし、現実には、なかなかそううまくはいきません…。

もちろん戸隠という中山間地に建つ保育園ですが、園は宅地に囲まれ、数メートルの盛り土をコンクリートで補強した上に建てられています。周囲は高いフェンスで、園庭に座った子どもたちは、周囲の山を何一つ見ることができないのです。毎朝駐車場から同じように囲われた階段を使って登降園しているのですが、階段を下りたそこがもう車道になっていて、危険なことこの上ありません。

このような「自然に囲まれている」とがくし保育園での「信州やまほいく」取組み事例をお伝えしたいと思います。

いつものように散歩でカエルを捕まえてきた子どもたちですが、アマガエルの色の違いに興味を持ったようです。調べてみると、どうやら周囲の環境によって、色を変えられることがわかりました。「赤くしたい！」

と考えた一人が、飼育ケースを赤いケント紙で覆って翌日…。カエルは緑のままでした。話し合い(?)の結果、「自然のものじゃないから変わらないんだよ」との結論に至りました。(すごい!)そこで、緑の葉を集めて来てケースの底に敷き詰めました。なんと絵の具で赤く塗って!

翌日見たものは、絵の具で赤くなっただけのカエルです。真水で泳ぐとすぐに緑に戻ってしまいました。「カエルは赤じゃダメなんだねえ」と納得した子どもたちは「次は青い絵の具でやろう!」と、大人が考えるとなんとも残酷な実験を、続行しそ

うになりました。保育士は迷ったのですが、子どもたちからの提案なのでぐつと我慢です。すると…



翌日の散歩で、何と青い突然変異のアマガエルと遭遇(みなさん、見たことありますか?)。捕まえて、みんなで見ただけ、めずらしいからとすぐに逃がした子どもたちなのでした。何とも嘘のような神様のプレゼントです。

青絵の具の実験は取りやめになり、「カエルって、青ならなるんだね」との結びになりました。科学的な根拠は将来に任せるとして、子どもたちがやってみたいと思った実験を見守った保育士に、敬意を表したいと思います。

「やまほいく」は人的環境がとて重要になります。森の中であり、周囲を山に囲まれたところだけに「信州やまほいく」があるわけでは

私たちが保育に生かしていくのか。主体的な学びがそれこそ自然に生まれるように環境をどう整えていくのか、問われると思います。もし周囲が住宅に囲まれているも、信州にある園だったら、アマガエルに会える可能性は高いはずですが。緑豊かな自然環境の中にいなくても、アマガエルは、むこうからやってきてくれます。



かわいいつぶやき

♪かえるのうた♪(1歳児)
かえるのクワックワックワックワック
聞こえてクワックワックワックワック
グア グア グア グア
ケケケケケケケケケケケケケケケケケケ
クワックワックワック

郡市別保育施設数等の推移

平成31年4月1日

| 郡・市 保育協会 | 29年4月 | | | | 30年4月 | | | | 31年4月 | | | |
|-------------|-------|-----|-----|-----|---|-----|-----|-----|-------|-----|-----|-----|
| | 市町村数 | 施設数 | | | 市町村数 | 施設数 | | | 市町村数 | 施設数 | | |
| | | 計 | 公立 | 私立 | | 計 | 公立 | 私立 | | 計 | 公立 | 私立 |
| 南佐久郡 | 6 | 9 | 9 | 0 | 6 | 9 | 9 | 0 | 6 | 9 | 9 | 0 |
| 北佐久郡 | 3 | 8 | 7 | 1 | 3 | 8 | 7 | 1 | 3 | 8 | 7 | 1 |
| 小県郡 | 2 | 3 | 3 | 0 | 2 | 3 | 3 | 0 | 2 | 3 | 3 | 0 |
| 諏訪郡 | 3 | 9 | 9 | 0 | 3 | 9 | 9 | 0 | 3 | 9 | 9 | 0 |
| 上伊那郡 | 6 | 27 | 27 | 0 | 6 | 27 | 27 | 0 | 6 | 27 | 27 | 0 |
| 下伊那郡 | 13 | 32 | 31 | 1 | 13 | 32 | 31 | 1 | 13 | 32 | 31 | 1 |
| 木曾郡 | 6 | 11 | 11 | 0 | 6 | 11 | 11 | 0 | 6 | 11 | 11 | 0 |
| 東筑摩郡 | 5 | 6 | 6 | 0 | 5 | 6 | 6 | 0 | 5 | 6 | 6 | 0 |
| 北安曇郡 | 4 | 6 | 6 | 0 | 4 | 6 | 6 | 0 | 4 | 6 | 6 | 0 |
| 上高井郡 | 2 | 3 | 3 | 0 | 2 | 3 | 3 | 0 | 2 | 3 | 3 | 0 |
| 北信濃 | 4 | 8 | 8 | 0 | 4 | 8 | 8 | 0 | 4 | 8 | 8 | 0 |
| 上水内 | 3 | 8 | 8 | 0 | 3 | 8 | 8 | 0 | 3 | 8 | 8 | 0 |
| 郡計 | 57 | 130 | 128 | 2 | 57 | 130 | 128 | 2 | 57 | 130 | 128 | 2 |
| 長野市(公) | 1 | 29 | 29 | 0 | 1 | 29 | 29 | 0 | 1 | 29 | 29 | 0 |
| 〃(私) | | 46 | 0 | 46 | | 48 | 0 | 48 | | 48 | 0 | 48 |
| 松本市 | 1 | 50 | 43 | 7 | 1 | 50 | 43 | 7 | 1 | 49 | 42 | 7 |
| 上田市 | 1 | 42 | 32 | 10 | 1 | 42 | 32 | 10 | 1 | 41 | 31 | 10 |
| 岡谷市 | 1 | 16 | 14 | 2 | 1 | 15 | 13 | 2 | 1 | 14 | 12 | 2 |
| 飯田市 | 1 | 33 | 16 | 17 | 1 | 33 | 16 | 17 | 1 | 33 | 16 | 17 |
| 諏訪市 | 1 | 15 | 13 | 2 | 1 | 15 | 13 | 2 | 1 | 15 | 13 | 2 |
| 須坂市 | 1 | 15 | 10 | 5 | 1 | 15 | 10 | 5 | 1 | 15 | 10 | 5 |
| 小諸市 | 1 | 9 | 7 | 2 | 1 | 9 | 7 | 2 | 1 | 9 | 7 | 2 |
| 伊那市 | 1 | 23 | 19 | 4 | 1 | 23 | 19 | 4 | 1 | 23 | 19 | 4 |
| 駒ヶ根市 | 1 | 12 | 10 | 2 | 1 | 12 | 10 | 2 | 1 | 12 | 10 | 2 |
| 中野市 | 1 | 12 | 11 | 1 | 1 | 12 | 11 | 1 | 1 | 12 | 11 | 1 |
| 大町市 | 1 | 8 | 8 | 0 | 1 | 8 | 8 | 0 | 1 | 8 | 8 | 0 |
| 飯山市 | 1 | 9 | 8 | 1 | 1 | 9 | 8 | 1 | 1 | 9 | 8 | 1 |
| 茅野市 | 1 | 18 | 15 | 3 | 1 | 18 | 15 | 3 | 1 | 18 | 15 | 3 |
| 塩尻市 | 1 | 17 | 15 | 2 | 1 | 17 | 15 | 2 | 1 | 17 | 15 | 2 |
| ちくま | 2 | 21 | 17 | 4 | 2 | 21 | 17 | 4 | 2 | 21 | 17 | 4 |
| 佐久市 | 1 | 24 | 15 | 9 | 1 | 24 | 15 | 9 | 1 | 24 | 15 | 9 |
| 東御市 | 1 | 6 | 5 | 1 | 1 | 6 | 5 | 1 | 1 | 6 | 5 | 1 |
| 安曇野市 | 1 | 20 | 18 | 2 | 1 | 20 | 18 | 2 | 1 | 21 | 18 | 3 |
| 市計 | 20 | 425 | 305 | 120 | 20 | 426 | 304 | 122 | 20 | 424 | 301 | 123 |
| 合計 | 77 | 555 | 433 | 122 | 77 | 556 | 432 | 124 | 77 | 554 | 429 | 125 |
| 28年度 | 77 | 561 | 444 | 117 | (注) 市町村数は、保育施設が存在する市町村。 施設数は、保育連盟加入施設数。 *ちくま保育協会には、坂城町が含まれています。 | | | | | | | |
| 27年度 | 77 | 564 | 449 | 115 | | | | | | | | |
| 26年度 | 77 | 568 | 454 | 114 | | | | | | | | |
| 25年度 | 77 | 573 | 460 | 113 | | | | | | | | |
| 24年度 | 77 | 581 | 470 | 111 | | | | | | | | |

編

集

後

記

令和がスタートしました。保育の現場は、保育士不足、未満児保育の需要の増加等課題がありますが、人が人を育てるという尊い仕事であり、健やかな子どもの育ちを願日々保育にあたっています。

先日、数十年前の教え子が実習をお願いしたいと来園しました。当時の面影が残っており、すぐわかりました。教え子の保育士になりたいという思いを受け止め、保育士の仕事の素晴らしさに気づいてもらえるように、子どもとの触れ合いを大切にしたいと思いました。

遊びの中で子どもが豊かな経験をたくさんして、保育士が、今日の保育は子どものどんな育ちにつながっているのかを目の前の子どもと照らし合わせ振り返ることで子どもの成長を感じ、やりがいのある仕事として向き合っている姿を大切にしていきたいと思えます。そして教え子にも知らせ、保育に携わる者みんなが、子どもたちにとって安心で安全な環境づくりや最善の利益となる保育を目指していきたいと思えます。

松本市里山辺保育園
浅原真由美